

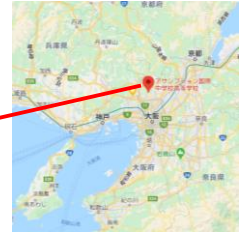
2020年6月5日 国立情報学研究所主催
第10回「4月からの大学等 遠隔授業に関する
取組状況共有サイバーシンポジウム」講演

教員みんなで取り組む オンライン授業

アサンプション国際中学校高等学校
社会科・情報科 岡本 弘之
<https://www.okamon.jp>
okamoto@assumption.ed.jp



学校の概要



アサンプション国際中学校高等学校

- 大阪府北部にあるカトリック校
- 2017年に校名変更・男女共学化
- ICT・PBL・英語イメージ教育が三本柱
- 全学年入学時にiPadを購入・各教室に電子黒板設置

休校までの本校の状況

- 一人1台iPad配布
- 各教室に無線LAN、電子黒板整備
- 家庭との連絡
 - ミマモルメ(メール配信)、Classi
- Gsuiteも学校で契約
 - Googleアカウントを全生徒に配布
 - GoogleClassroom、formの授業での利用

- いろいろできる環境(土台)はあった！
- ICT活用は積極的な授業から消極的な授業まで

オンライン授業の開始

- 「4月からオンライン授業をする」
→プロジェクトチーム立ち上げ(メンバー4名)

方針検討

- 臨時休業の中でも生徒の学びを保障したい
- 生徒に毎日規則正しく学習させたい
- 授業を進めるため、毎日7時間授業を配信する
- 全教員が自分で取り組めるとする
- 学校の回線状況、生徒のスキルにも配慮する

オンライン授業の方法(1)

- ①iPadで撮影 ②iPadで編集 ③YouTubeの限定公開

• 基本は切り貼りのみ

• 各先生がチャンネルを開設「全教員がYouTuber」

オンライン授業の工夫(2)

当日分6~7時間分のURLを毎日配信

質問・提出をオンラインで実施

質問の回答・コメントを送付

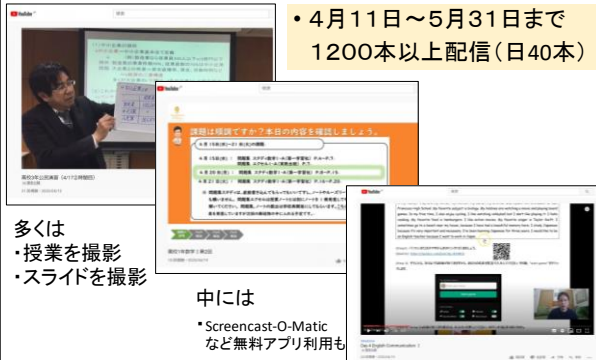
<https://www.irasutoya.com/>

動画配信は一方的→双方向性を工夫

- Classi、GoogleClassroom、Padlet

オンライン授業の工夫(3)

- 4月11日～5月31日まで
1200本以上配信(日40本)



多くは

- 授業を撮影
- スライドを撮影

中には

- Screencast-O-Matic
など無料アプリ利用も

自分が作ってみて

- 50分の授業は動画に凝縮すると10分におさまる
- 動画の説明はリアルより丁寧が必要
- 10分超えると見るのはしんどい
- 授業スタイルで撮影する動画が負担が少ない
- スライドより板書を使うとさらにおすすめ
- 結構授業は進むと気づく
- ICTスキルは上がった



成果と課題

- 教員
- タブレット端末+YouTube配信は簡単
 - YouTube配信とすることで編集工夫の余地
 - 制作に時間がかかる(工夫が必要)

みんなで
取り組めた!



- 生徒
- 拘束時間が長くない、自分の時間で取り組める
 - わからないところを繰り返し見られる
 - 毎日7時間配信なら同期はしんどい



- 保護者
- 一緒に見るなどおむね好評
 - 同期ツールを望む声→規則正しい生活?



<https://www.irasutoya.com/>

次のオンライン授業に向けて

- 「みんなで」と「とんがる」の両方が大切!
 - みんなで取り組むために、方法はシンプルがベスト
→1200本配信につながる
 - 先行する先生のおかげで生徒のスキルは上がる
→続く先生は生徒への説明が不要となる
- 「授業を進める」だけでなく、生徒の視点も重要
 - 同期ツールがベストとは限らない



- 次回も時間割通りの配信を考えるなら・・・
- 同期ツールで朝礼・HR+オンデマンドの動画配信